

ボランティアガイドと一緒に 常設展示を見学しませんか!

ご希望の場合は、事前にお申し込みください。
(博物館 TEL 025-386-1081
おひとりから団体まで対応します 無料)
※目的に合わせて、時間・内容は調整できます。
ご相談ください。



7



1

■お願い

- 敷地内での喫煙、館内での飲食はご遠慮ください。
- 展示品には触れないでください。
- 常設展示室内の撮影禁止マークが付いている資料と、「郷土の芸術家」コーナーの撮影はご遠慮ください。その他の展示資料等の撮影をご希望の方は、窓口にお申し出ください。

■あゆみ

- 1968(昭和43)年 11月3日、豊栄町博物館として開館
- 1970(昭和45)年 11月1日、市制施行により豊栄市博物館となる
- 1981(昭和56)年 3月28日、常設展示テーマを「福島潟と人々の暮らし」として現在地に移転開館。11月、登録博物館となる
- 1998(平成10)年 7月2日、常設展示テーマを「一書聖一弦巻松蔭の世界」に変更し、リニューアル開館
- 2004(平成16)年 4月13日、分館・横井の丘ふるさと資料館が開館(2022年3月廃止、2023年1月解体完了)
- 2005(平成17)年 3月21日、合併により新潟市豊栄博物館に名称変更
- 2011(平成23)年 3月31日、郷土資料収蔵庫竣工
4月1日、新潟市北区郷土博物館に名称変更
- 2015(平成27)年 5月2日、常設展示テーマを「阿賀北の大地と人々の暮らし」に変更し、暫定開館
- 2016(平成28)年 11月3日、ランドオープン式典開催、市民ボランティアが常設展示ガイド活動を開始
- 2023(令和 5)年 1月4日、常設展示に新コーナー「暮らしを支えた手織り葛塚織」オープン

新潟市北区郷土博物館 概要



■施設概要

【本館】
・敷地面積 2,683㎡ ・構造 鉄筋コンクリート平屋建て
・延床面積 1,064㎡
展示ホール 154㎡、展示室 347㎡、収蔵庫 230㎡、特別展示室兼集会室 95㎡、図書室兼研究室 71㎡、事務室 27㎡、機械室 43㎡、その他 97㎡

【郷土資料収蔵庫】

・構造 鉄筋コンクリート平屋(一部中2階)建て
・延床面積 586.18㎡
第1収蔵室 267.45㎡、第2収蔵室 122.55㎡、資料整理作業室 80.55㎡、その他 115.63㎡

■所在地

〒950-3322
新潟市北区嘉山3452番地

■TEL 025-386-1081

■FAX 025-388-6290

■E-mail museum.n@city.niigata.lg.jp

■開館時間 9:00~17:00

■入館料 無料

■休館日 月曜日
(祝日の場合は開館)
祝日の翌日
12月28日~1月3日

■交通のご案内

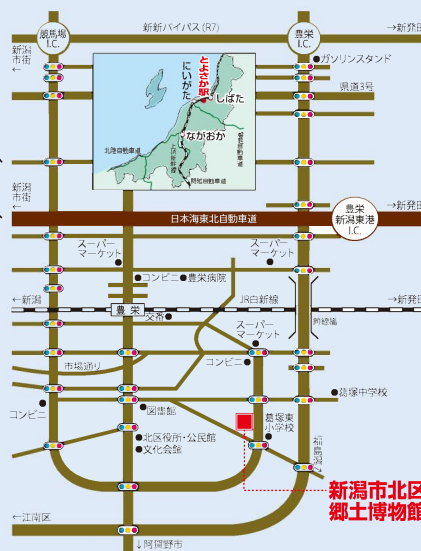
新新バイパス(R7)

- 豊栄ICより車で10分
- 競馬場ICより車で10分
- 日本海東北自動車道
- 豊栄新潟東港ICより車で5分
- JR白新線
- 豊栄駅南口より徒歩15分

ホームページも
ご覧ください



新潟市北区郷土博物館 検索



新潟市北区 郷土博物館

2024(令和6)年度のご案内

福島潟から北区を望む



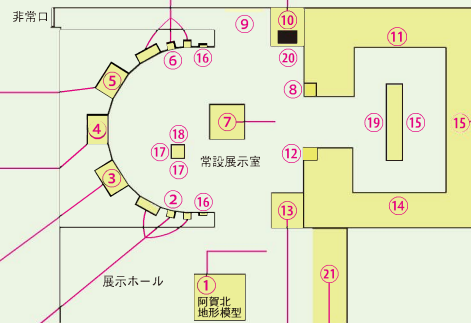
地域のおいたちや歴史・文化などを
紹介しています。

北区の魅力を再発見してみませんか!

常設展示

阿賀北の大地と人々の暮らし

北区は、新潟市北地区と旧豊栄市等により構成されています。新潟市域では唯一阿賀野川右岸にあり、江戸時代には共に新発田藩や水原代官所の支配を受けてきました。また、1954(昭和29)年に北地区が新潟市と合併するまで、この地域は北蒲原郡西部郷と呼ばれ、地域的に1つのまとまりと認識されていました。半世紀以上が経ち、今また「北区」という新たな歴史を歩み始めています。



手織り伝承活動(葛塚綿手織りの会) 毎月第2・4土曜 13:30~16:00



- ① 阿賀北のおいたち
- ② 大昔の暮らし
- ③ くずし字が伝える北区
- ④ 北区の明治維新
- ⑤ 新潟県三大小作争議
木崎村小作争議
- ⑥ 越後随一の陶磁器 太丘焼
- ⑦ 暮らしを支えた舟
- ⑧ 水とのたたかい
- ⑨ 水害・治水・福島潟干拓パネル
- ⑩ 福島潟周辺の新田作りの道具
- ⑪ 農具が語る低湿地の暮らし
- ⑫ 水のめぐみ
- ⑬ 1935(昭和10)年頃の
福島潟の漁労風景(模型)
- ⑭ 漁具が語る水辺の暮らし
- ⑮ 郷土の芸術家
書家 弦巻松蔭の世界
- ⑯ 北区のアラまし
- ⑰ 北区のおゆみ
- ⑱ 合併のおゆみ
- ⑲ 北区のおすがた(写真)
- ⑳ 映像コーナー(7番組)
- ㉑ 暮らしを支えた手織り 葛塚綿

当館では、松浜・濁川・南浜地区の歴史資料や昔の暮らしを知る道具(特に塩作り・葉たばこ作り・漁業関係)がありません。寄贈いただける方はご連絡をお願いします。

2024(令和6)年度 企画展など事業のおしらせ



日程	事業名
1/4(木) ~5/6(月・振休)	常設展拡大企画 葛塚綿展 かつて町の主要産業だった木綿織物「葛塚綿(くずつかしま)」について関連資料から紹介します。 関連講演会: 4/29(月・祝) 14:00~ 手織り体験・実演: 会期中の毎週土曜 14:00~ 展示解説: 4/7(日)・4/21(日) 各日とも 14:00~
5/25(土) ~6/30(日)	新潟地震から60年 災害の記録をたどる写真展 1964年に発生した新潟地震、1966年と1967年の2年連続の大水害など、これまでにみまわれた災害を記録写真などで紹介します。
6/9・16・23・30 (毎週日曜)	博物館講座 地域の歴史や文化、当館所蔵作品(アート)などをテーマにした講座。
7/13(土) ~8/25(日)	夏休み企画 書をみる 一弦巻松蔭と上田桑鳩の作品 二人の作品の自由な表現を楽しみつつ、書芸の魅力を探ります。対話形式による作品鑑賞会を予定。
7~8月	夏休み手織り体験・ワラ細工体験 手織り体験(7/27、8/17) ワラでなべしき作り体験(7/28、8/18)
8/31(土) ~9/1(日)	葛塚綿手織り実演会(会場: 新潟ふるさと村) かつて農家の女性の冬仕事だった「はた織り」の技術を伝承する葛塚綿手織りの会による実演を行います。
9/21(土) ~10/20(日)	第2回 新潟市北区子ども作品展 新潟市北区の小学生が夏休みに取り組んだ創意と工夫に富んだ自由研究や作品を展示します。 対象: 新潟市北区の小学生 主催: 新潟市北区
11/3(日・祝) 11/24(日)	新潟市北区郷土芸能公演 神楽・獅子舞・盆踊り・太鼓など北区の郷土芸能に触れてみませんか! 3日は北区郷土博物館(予定)、24日は新潟市北区文化会館で開催。
11/16(土) ~2025(令和7)年 1/13(日)	所蔵美術作品展 かたちを「うつす」世界 新収蔵作品を含めた美術作品を公開。「うつす」という言葉から導かれた3つの「写す/移す/映す」をキーワードに鑑賞します。作品鑑賞会を予定。
2025(令和7)年 2/8(土) ~5/6(火・休)	北区ゆかりの文化財展(仮称) 新潟市には多くの指定文化財や登録文化財があり、これら有形・無形の文化財は、地域の歴史や文化を伝えてくれる、みなさんの宝物です。本展では、北区ゆかりの文化財を紹介します。



詳しくは、北区だよりやホームページなどでお知らせします。また、急ぎや、臨時休館やイベント中止など、予定が変更になる場合があります。ご来館の際は、ホームページや電話などでご確認ください。